学校通信　椙小　６月号
２０２３年５月３１日（令和５年）
椙山女学園大学附属小学校

どうする？運動会

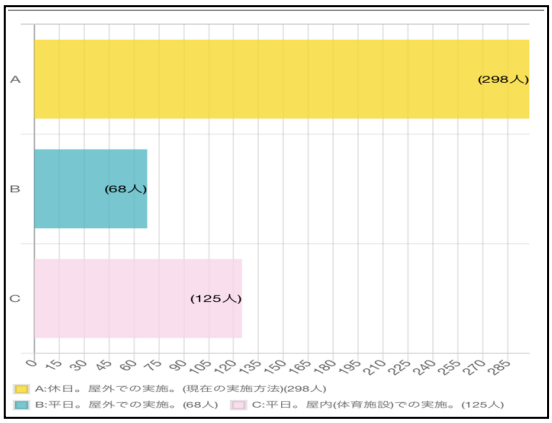
校　長　　相　川　保　敏

５月２０日に開催いたしました運動会に、多数ご参観いただきありがとうございました。当日早朝の運動場は前日の雨の影響でぬかるみや水たまりが見られ、実施か順延かを大変悩みました。好天であることに加え、順延することで子どもたちのモチベーションが下がること、多くの方の予定に影響を与えることなどから、総合的に判断し実施することといたしました。しかし、運動場の整備が思ったより大変であったこと、また放送機器の不具合があったことから開始時刻が大きく遅れ、参観の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫びいたします。

運動会そのものは、青空の下で全校の児童が集い、子どもたちの歌声、応援の声、さらに保護者の方の声援が運動場に響きわたり、活気のあるものになりました。４年ぶりにすべての学年の演技・競技を見ることができました。最後まで多くの子どもたちの笑顔が見られ、うれしさとともにほっとしたというのが私の実感です。

一方で、近年５月と言っても気温が３０度を超える日も増え、熱中症対策も必須になっています。長時間、子どもたちを屋外で活動させることは難しく、昨年度は午前・午後と分散開催をしましたが午後の暑さは大変厳しいものでした。今年は開式・閉式を簡略化し、徒競走を取りやめて午前のみに収まるように計画いたしました。今年は昨年よりも気温が低く風もあり、比較的過ごしやすい環境でしたが、それでも時間がたつにつれ、暑さ指数は「注意レベル」と「警戒レベル」の境目まで上昇し、午前で収めたことは正解でした。

アフターコロナの運動会にあたっては、昨年度からその在り方について教職員間で協議を行っています。天候も熱中症も影響しない室内での実施を検討しています。３月には保護者の皆様に、簡易ではありますが運動会の開催についてアンケート調査を行わせていただきました。結果は、下記のグラフのように、A 休日の屋外が 298 人、B 平日の屋外 68 人、C 平日の屋内 125 人と、休日開催を望まれる声が多数を占めました。



今回の運動会を通じて、天候や熱中症の心配をせず、子どもたちが一生懸命に走ったり、応援合戦をしたりできるプログラムにしたい、参観される方も暑さを気にしないで座って参観できる運動会にしたいという思いが強くなりました。500 人の児童と参観者の数を考えると、ガイシホールや県体育館レベルの大規模体育館でないと収容できません。理想的には土日に行いたいところですが、空きがなく参入できる余地がありません。しかし、平日であれば時期によっては空いている状況もあるようです。NHK の大河ドラマ「どうする？家康」ではありませんが、大変悩むところです。再度、保護者の皆様にアンケートを取らせていただきたいと思います。今回は、実施する際の競技内容も含めてより具体的にお尋ねしたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

今月のめあては、「ルールについて考えよう」です。ルールがどうして必要なのか、ルールを守る意義について考えていきます。ご家庭でも、話題にしていただければ幸いです。